



2025年8月13日

各位

会社名 株式会社 ズーム
代表者名 代表取締役 CEO 工藤 俊介
(コード: 6694、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CFO 山田 達三
(TEL. 03-5297-1001)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期の通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2025年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年1月1日～2025年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------------|------------|------------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 18,500 | 百万円 900 | 百万円 830 | 百万円 340 | 円 銭 78.10 |
| 今回修正予想(B) | 17,800 | 500 | 360 | △220 | △50.77 |
| 増減額(B-A) | △700 | △400 | △470 | △560 | |
| 増減率(%) | △3.8 | △44.4 | △56.6 | — | |
| (ご参考)前期実績 (2024年12月期) | 18,072 | 531 | 554 | 40 | 9.41 |

2. 修正の理由

第二次トランプ政権の関税政策の影響については、前回発表予想においても一定程度織り込んでおりましたが、実際に発動された関税は当初想定を上回る高い税率となりました。この結果、当社製品の最大の市場である米国においては、先行きの経済環境に対する不透明感が一段と強まり、生活必需品以外の消費を控える動きが広がっています。当社製品もその影響を受け、米国市場での販売は想定を下回っており、この傾向は今後も継続すると予想しております。こうした事業環境の変化を踏まえ、通期連結業績予想を下方修正することといたしました。

(1) 売上高について

北米の売上は前回発表予想を下回ると予想する一方、欧州市場における販売代理店事業は引き続き好調に推移することが見込まれるほか、為替相場が円安で推移していることが下支えとなり、売上高は微減にとどまる見込みです。

(2) 営業利益及び経常利益について

売上総利益率の高い北米市場における販売不振の長期化および想定を上回る関税の影響により、売上総利益は前回発表予想比で 560 百万円の減少を見込んでおります。一方、役員報酬の削減を含む経費の見直しにより、販管費及び一般管理費は 160 百万円の減少を見込んでおります。

これにより、営業利益は前回予想比で 400 百万円減少の 500 百万円、経常利益は 470 百万円減少の 360 百万円となる見込みです。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益について

経常利益の減少に加え、来期以降の収益性向上に向けたリストラクチャリングを実施し、その関連費用を特別損失に計上する見込みです。また、比較的業績が好調である欧州地域の連結子会社の持分が 51%に留まるため、利益の 49%分に当たる 210 百万円を非支配株主持分として控除する必要があります。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想から 560 百万円減少し、220 百万円の最終赤字となる見込みです。

(4) 想定平均為替レートについて

- ・ 前回発表予想：1 ドル 140.0 円
- ・ 今回修正予想：1 ドル 145.7 円

第4四半期には1ドル143円まで円高が進むと想定しておりますが、7月まで円安に推移していたことから、年平均の為替レートは1ドル145.7円と予想しております。

3. 期末の配当について

最終赤字を見込みますが、減配なしの累進配当の方針は維持し、期末の配当予想につきましては据え置き（1株当たり32円）といたします。

(注) 上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上